



いすだより



発行 又吉

梅雨期があっという間に明け、夏到来！1歳児は体温調整がまだ未熟なため、これからも、こまめな水分補給や室内の温度、湿度管理、汗をかいた後の着替えやシャワー等、暑さの中でも元気に過ごせるよう配慮していきたいと思います。暑さから疲れやすい時期なので、ご家庭でも引き続き、“早寝、早起き、朝ごはん”でこの夏を過ごしていきましょう。

～夏の遊びを楽しむぞ！！～



園庭の大きな“くわでいーさー”の木が、去った保護者会作業できれいにせん定され、大きな木陰が出来ました。その根元には人口芝が敷かれ、小さな傾斜のお山が出来、ちびっこ広場の新しい遊びのスペースが出来ました。そこからフープやボール、丸い砂場の玩具を転がしては取りに行く競争をしたり、時にはそこに座り、芝のチクチク感に驚いたりと楽しんでいます。これからの暑さの中で、お楽しみの水遊びが始まります。この木陰での水遊びや裸足での感触遊びなど、日々の体調を共有しながら、夏ならではの遊びをどんどん取り入れ満喫していきたいと思います。



～これは？面白いね～好奇心がいっぱい！！～

梅雨期の室内遊びの廃材遊びが気に入り、段ボールや新聞紙などでの遊びが広がってきた子ども達。初めは小さな箱の出入りを一人ひとりが楽しんでいたのですが、回を重ねて遊んでいくと、箱に入っているお友達に新聞紙のお布団をかけて、おでこをスリスリしてお昼寝を再現したり、突起のある箱を迷路のように四つん這いになって歩いたり、お友達が座っている箱を押して“ブーブー”と車に見立て走らせ運転を交代したりと、子ども同士の関わりも見られ一緒に遊ぶ楽しさも広がってきました。既存の玩具にはない環境の中で、一歳児なりの日常からの“見立て遊び”や、自分で探求していく力、創造力を養う環境の一つとして楽しんでいきたいです。

“しっこ であよ～”



日中を布パンツで過ごす子が増えてきました。歩行が確立し、おむつ交換の時に おむつが濡れなくなり、排尿感覚が長くなっていくタイミングで進めています。お昼寝の後に おむつが濡れていない事をサインに、トイレに誘い、まずは便器に慣れることからスタートしています。便器でおしっこが出たことを保育者と手をたたいて一緒に喜ぶ子、出た後に“しっこであよ～”と言葉で知らせる子、両足を広げおしっこしたことを行動で知らせる子と、様々な姿が見られます。夏のこの時期は布パンツに切り替える良い時期だと思います。無理なく、個々のタイミングを見ながら進めていきたいです。ご家庭でもこのようなサインが見られるようになり、子どもが興味を持っている時が、自立のチャンスです！ぜひ、お家でもパンツに挑戦してみてくださいね。個々のタイミングを見ながら切り替えの声かけをしていきますので布パンツの用意をお願いします。トレーニングパンツは濡れた不快感が感じにくいようです。薄手（普通）のパンツをお願いします。

～何でも自分で！！（絵本の力を）～



ズボン、パンツの着脱にも関心が見られ、“自分で！！”と、大人の手を払いのける子ども達です。思うようにできなくて癩癩を起こすこともまだまだありますが、絵本“おててがでたよ”の中の「もう一つの足はどこかな？」の言葉をかけると、楽しみながら着脱をしています。絵本の力はすごいな～と改めて実感します。やりたい思いを受け止めながらも一緒にできた達成感を味わえるようにしたいですね。ご家庭でも生活の中に絵本の力を！！



きりんだより



発行者：天久

梅雨が終わり本格的に夏の足音が少しずつ聞こえてくる季節となりました。日差しも強まり、汗ばむ日が増えてきましたが、子どもたちと毎日元気いっぱい過ごしています。戸外では虫を見つけたり、草花や野菜の生長を観察しながら、自然に親しむ姿が見られます。室内では、ままごとやブロックなどに集中して取り組み、友だちとのやりとりも少しずつ広がってきました。「一緒にしよう」と言った言葉も増え、心の成長も感じられました。暑さに負けない身体づくりのために、水分補給や休息を大切にしながら、これからも子ども一人ひとりのペースを大切に、のびのびと毎日を過ごしていきたいと思ひます。



～集団遊び～



日頃、活動内容を子どもたちと決める際に「〇〇ごっこしたい」「みんなでいっしょに〇〇やりたい！」という声が上がリ、集団での活動を楽しむ姿が見られるようになってきました。最近「ハンカチ落とし」「椅子取りゲーム」「ボール渡し」などの遊びがブームで、「ハンカチ落として～」とドキドキしながら待ち、落とされた子は笑顔で追いかけるなど、順番やルールを守って遊んでいます。また、その中で友だちを応援するやさしいやりとりも見られます。

こうした遊びを通して、友だちと一緒に楽しむことの喜びやルールを理解しようとする姿勢、自己表現の楽しさなど、心の成長に繋がっているなど感じます。今後も集団遊びを取り入れ、みんなで協力したり、気持ちを伝えあったりする経験を重ね、その中で子どもたちの成長を見守っていきたく思ひます。



異年齢児との関わり



毎週月曜日の全体集会では、おゆうぎやゲーム、リトミックなど、異年齢児との関わりを深め交流を楽しんでいます。年上の子の姿を見て真似たり、優しく手を引いてもらいながらおゆうぎを楽しむ姿が見られます。また、年下の子が安心して参加できるように顔を覗き込んで、名前を呼んでみたり、泣くかな？泣かないかな？とドキドキしながら優しく触れたりと興味を持って関わろうする姿が見られます。

こうした異年齢同士の活動を通して、思いやりの気持ちが育まれているように感じます。

また、最近ファミリーフェスタで予定しているおゆうぎやゲームなども楽しみながら当日への期待が高まっています。

食育

すだつっこファームに出かけ、畑の様子を見に行きました。オクラが少し実っているのを見つけ「大きくなって」「収穫が楽しみ！」と目を輝かせる子どもたち。そのあとは草抜き「これ草かな？」と保育者に聞きながら、なかなか抜けない草を「うんとこしょ、どっこいしょ」と友だちの腰に手をまわして、草を引っ張る子どもたちの姿がありました。畑の帰り道には園の周りを散歩し、草花を見つけて観察していました。自然の中で経験を重ね、野菜の生長や変化に「気づく心」や「自分たちのもの」という意識が芽生え、愛着を持って大切にしようとする心が少しずつ育ってきています。



ぱんだだより



発行：安次富

入園・進級から3ヵ月が経ち、新しい環境にもだいぶ慣れてきています。6月から午睡もなくなり「ぱんだ組さんは小学校に行くからお昼寝しないんだよ、だって小学生は寝ないよ」と子どもたちなりに、イメージしているようです。夕方眠くなる子もいますが、休息の時間を工夫しながら午後も元気に過ごしていきたいと思えます。ご家庭でも就学に向けて早寝早起きの生活リズムを整えていけるようご協力をお願いします。



ファミリーフェスタにむけて



今年度初めての取り組みとなる「ファミリーフェスタ」に向けて準備を進めています。オープニングについて話し合うと「夏祭りの曲を踊りたい」「お母さんたちと一緒にゲームをしたい」など多くの意見が出る中「マリオカートがいいんじゃない」という声も聞こえてきました。しかし皆で「保育園でしかできないこと」「家族みんなで楽しめるものがいい」という意見がでて「なんでそう思うの?」と聞いてみたところ「だって、おばあちゃんとかおじいちゃん、〇〇ができないよ、できないと楽しくないよ」と周りの家族を思う声や意見が出てきました。そう言った意見を出し合うことで、自分の考えだけでなく、相手の意見や考えを聞くことができました。話し合いの末に、皆が大好きな「夏祭りやぐらおみこし」に決定しました。製作段階でも意見のぶつかり合いもありますが「協同性」の育ちを目的に取り組んでいます。どうぞお楽しみに!



更に張り切っています! 当番活動

毎日お部屋の掃除を行っています。「ぱんだ組だからできることは何?」と考えを出し合い話し合うと、みんなが使っている靴箱、中の階段、外の階段など、どんどん意見が出てきました。どのように掃除をすれば綺麗になるのか、また掃除をするためには何が必要なのかお互いに確認し協力し合って取り組んでいます。掃除だけでなく、使った道具を元の場所に戻すこと「整理整頓」も少しずつ上手になりました。お掃除の後は「ぴかぴかだね、きれいだね」と満足そうにしています。朝の駐車場のクリーンデーや、すだつっこファームの水かけや草抜きも、小さな手で葉っぱを拾ったり抜いたりしています。その際に出会う保護者の方や近隣の方と挨拶を交わし「社会生活との関わり」を楽しんでいます。



緑のカーテン~ゴーヤーの植え付け~

「地球温暖化、再生可能エネルギー、環境問題について子どもたちの視点から関心を持ち楽しく学んでいくきっかけに…」というねらいのもと取り組んできた「そらべあ活動」が今年3年目を迎えます。今年は「緑のカーテン」ということでぱんだ組のデッキに「ゴーヤー」を植えています。自分たちで土を買いに行き、混ぜ合わせる土づくりから始まりプランターに苗の植え付けを行いました。自分たちで準備から植え付けを行ったことで、毎朝「昨日より伸びている」とツルの生長を発見、定規で図って確認したり、「暑いからたくさん水飲んでね」と水かけをしています。植物のお世話を通して「自然との関わり」「数や文字」に関心が持てるように育てていきたいと思えます。

あたらしい 仲間がきました。



ぱんだ組のお部屋のデッキに住んでいる「うさぎのうさぎ」のおとなりに「カブトムシ」がやって来ました。調理の恩田さんのお家にいたカブトムシを数匹譲っていただきました。初対面の日には興奮して「これ本物?」「どこで買ってきたの?」「山で捕まえたの?」など様々な声が飛び交っていました。うさぎ同様に毎日、餌を与えお世話をしています。身近で生き物を飼うことで、「今日はあまり元気がないね」「ご飯食べるの早いから元気だね」など日々、生命の不思議さや尊さに気づき、エサの与え方や接し方を考え話し合い、小さな命を大切に育てていきたいと思えますよ。



ほけんだより

発行：安次富

梅雨も明け、いよいよ本格的な夏がやって来ます。ご家庭でも海水浴やプール遊び、夏祭りやイベントなど、子どもも大人も楽しみがいっぱいのこの時期こまめな水分補給と休息を心がけ、暑い夏を元気に過ごしましょう。

水遊びが始まります

子どもたちが大好きな夏やってきました！ 園では、天候や暑さ指数などを見ながら安全面に配慮して進めていきます。

水遊びは体力を消耗するため前日の夜は早めに寝かせ、朝は食事をしっかりと摂るなど、ご家庭での体調管理もよろしくをお願いします。

※水・プールあそびの当日は必ず朝の検温、参加の可否をパピーナ連絡帳にてお知らせください。



「いつもとちがう」
ことがあったら
お知らせください！

下痢などの体調不良はもちろん、朝起きたときのきげん、顔色、食欲など。



つめは短く切ってください！

つめが伸びていると、引っかかってけがをしたり、お友達をひっかいてしまったりと、思わぬけがを招きます。

気をつけたい 夏風邪

いんとうけつまくねつ 咽頭結膜熱（プール熱）

その名のとおり、のど（咽頭）と目（結膜）に炎症が起こり、高い熱が出ます。うつりやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどを共有するのはやめましょう。

ヘルパンギーナ

突然高い熱が出て、数日続きます。口の中に水ぶくれができ、2～3日ほどで破れて潰瘍（かいやう）になって痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。

おうちで休むときは……

水分補給をしっかりと

暑さや熱で水分が失われると、口の中やのどに痛みが出やすく、食べるのをいやがりがち。アイスクリームやゼリーなど、口当たり、のどごしのよいものを少しずつとらせるか、脱水にならないように水分だけは飲ませるようにしましょう。



手足口病

最初に口の中にポツポツができ、痛みのため飲んだり食べたりするのをいやがりします。このときに熱が出ますが、半数は熱を伴いません。その後、手のひら、足の裏に赤っぽい水ぶくれができて痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。

回復するまで

夏風邪は、どれも特効薬はありません。休むことがいちばんの薬です。しっかりと休んで回復させるほうが、ぶり返しにくく、長引きません。



※現在、名護市内の保育施設にてインフルエンザやコロナ等の感染症の発症もあります。日頃から手洗いうがいなど感染症対策を心がけていきましょう。うがいが難しい乳児に関しては、こまめな水分補給で喉の乾燥を予防できるそうです。

7月 食育だより

発行 外間

梅雨が明けて夏も本番をむかえます。暑くなると食欲が低下してしまいがちです。夏の暑さに負けないためにも、しっかり食べて水分補給をして、元気に過ごしましょう。

ランチルーム



園の2階の舞台を利用し、3.4.5歳児はランチルームを設け、昼食をいただいています。

ランチルームという特別な空間を設け、食事の場を意識すること、皆で食べる楽しさを味わい、食への興味・感謝の気持ちなどを育む目的としています。

環境を整えることで子ども達は毎日、食事に期待し、提供した食事をさらに美味しく食べている様子が見られます。これからも子ども達への食育に繋げるよう工夫していきたいと思ひます。



毎日、調理さんが準備してくれます。



”今日のメニューは
なにかなー？と
順番を待ち自分で食べられる
量を加減しながら器に盛りつけ
ます。

自分で好きな場所を選んで、保育士・支援員・調理員・用務員さん等いろいろな職員と関わりを持ちながら楽しく食事しています♪

園の畑の夏野菜

子ども達が毎日水やりをし、野菜の生長を観察し、収穫への期待を膨らませています。

えいようふぁーむからは、ネギ・空芯菜などが実り収穫をして昼食やおやつに利用しています。



おくら



赤しそ

旬の食べ物 夏野菜を食べよう

夏野菜は水分を多く含み、体温を下げる働きがあるといわれています。汗をかいて失われるミネラルやビタミン類も豊富で、だるさや疲れを取り生食や簡単な調理法でおいしく食べられます。沖縄での夏野菜には代表的なゴーヤー。その他に空心菜(うんちえー) や赤うりがあります。どの野菜にも夏の体にうれしい栄養素が豊富だといわれています。

<一品紹介> アラのりおくら和え

瓶入りのアラのりとおくらの和え物で園の食事でも子ども達に人気の一品です。

材 料

アラのり・・・5g おくら・・・25g ※幼児 1人分

ーレシピー

おくらをポイルし冷水に通してスライス。アラのりと混ぜ合わせる。



オクラには、風邪や感染症を予防するビタミンCがきゅうりの約2倍。骨を丈夫に保つ働きをするビタミンKがほうれん草の約1.5倍と栄養価の高い夏野菜です。

ぜひご家庭の献立に取り入れてみてはいかがでしょうか。



5月の手作り誕生日ケーキ



手作りケーキに子どもたちは大喜び。5月といえばこいのぼり。カエルも一緒に遊んでいる姿をイメージしたケーキです。